

記者発表（記者発表・資料配付）			
発表年月日	令和4年9月22日（木）	担当地方機関	丹波県民局県民交流室
電話番号・内線	0795-73-3718（直通）	担当課	総務防災課
発表者	県民交流室次長 日原 基	事務担当者	班長（企画防災担当） 宇野 真由美
解禁日時	無 ・ 有 （ 月 日 時解禁）		
同時発表先	無 ・ 有 （県政記者クラブ、北播磨県民局）		
特記事項			

県内 JR ローカル線初！ JR 加古川線「電車でミーティング」の実施

新たな鉄道利用の試みの一つとして、JR 加古川線車両を使い JR 加古川線について語り合うミーティングを開催します。

これは、JR 加古川駅・西脇市駅方面から谷川駅に到着し待機している車両を利用して行うもので、このような車両の活用は県内 JR ローカル線で初めての取り組みです。意見を集約し、第2回 JR 加古川線（西脇市―谷川間）維持・利用促進ワーキングチーム会議（※別紙【参考】を参照）で発表します。

記

- 1 日 時 令和4年9月28日（水）10:45～11:45
- 2 場 所 JR 谷川駅停車中の車両内（10:40にJR 谷川駅に到着する車両）
- 3 出席者 地元自治会代表、地域活性化に携わる地域住民・団体関係者、
JR 加古川線沿線企業職員、
JR 加古川線（西脇市―谷川間）維持・利用促進ワーキングチーム会議構成員 等
- 4 内 容 車両内ミーティング（JR 谷川駅停車中の車両内）
・ 地域の方からの加古川線への想い、活動紹介
・ グループトーク 等
※車両内では JR 加古川線写真展も行います。
- 5 主 催 丹波県民局
- 6 その他
 - ・ 参加者の一般募集は行いません。
 - ・ 取材を希望される場合は、あらかじめ、①社名、②お越しになる人数



を以下の担当者あて電子メールにてご連絡ください。撮影につきましては申込多数の場合、代表撮影またはグループに分けての撮影とさせていただきます。取材当日は腕章をご着用いただき、JR 西日本の指示に従っていただきますようお願いいたします。

《取材申し込み》

兵庫県丹波県民局 県民交流室

総務防災課班長（企画防災担当） 宇野 真由美

E-mail ; Mayumi_Uno@pref.hyogo.lg.jp

【参考】

JR 加古川線（西脇市—谷川間）維持・利用促進ワーキングチームとは

JRローカル線^{※1}の利用促進策の検討にあたり、各地域特有の事情等を踏まえた検討を行うため、JRローカル線維持・利用促進検討協議会^{※2}により設置されたワーキングチーム。第1回のワーキングチーム会議は令和4年7月26日に開催。第2回目は9月28日(水)12:30~14:30に山南住民センターで開催予定（事務局：北播磨県民局）。

構成員：JR加古川線の沿線市、JR西日本、交通事業者、観光事業者、利用者（商工会・高校・自治会等）、県民局（北播磨、丹波）

※1 JRローカル線

輸送密度が2000人/日未満のJR山陰線（城崎温泉～浜坂、浜坂～鳥取）、同加古川線（西脇市～谷川）、同姫新線（播磨新宮～上月、上月～津山）及び同播但線（和田山～寺前）の4路線6区間

※2 JRローカル線維持・利用促進検討協議会

地域住民の日常生活や観光・交流による地域活性化に欠くことのできないJRローカル線を維持するため、沿線地域の実情・課題を踏まえ、駅周辺の活性化や観光（DC・万博等）と連携した利用促進策等を官民連携で検討する協議会。



※WTは協議会の構成員を参考に、県民局等で組織。必要に応じて他府県の沿線自治体等に参加を依頼。

※（ ）内は事務局。
播但線及び姫新線には中播磨県民局、
加古川線には丹波県民局が参加。